

非常時の取水方法

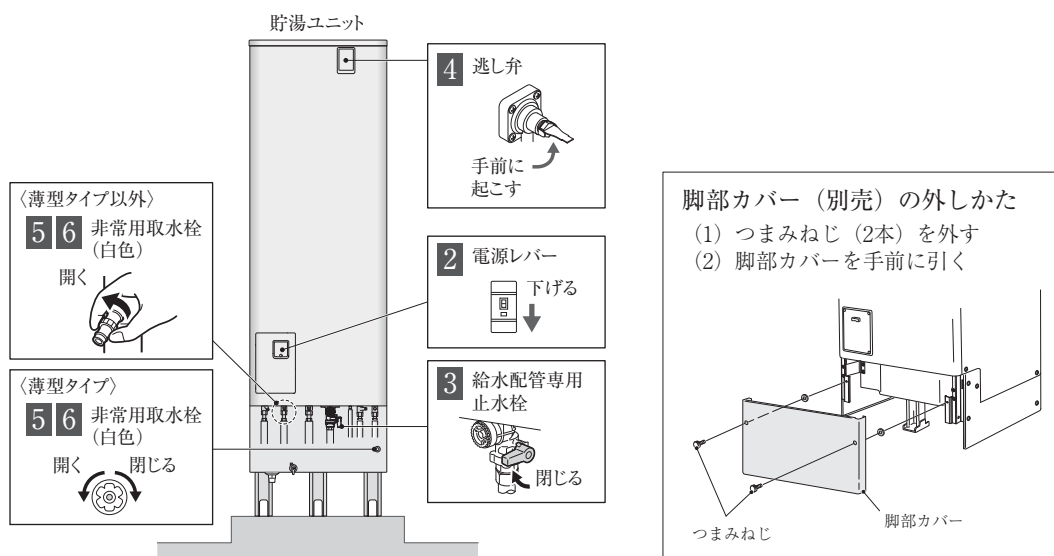
タンクの水(お湯)を生活用水として利用できます。

※薄型タイプの非常用取水ホースは、取扱説明書等と一緒に同梱されています。



警告

- 停電時の給湯は、必ず指先などで湯温を確認する(やけどの原因)
- 給湯(取水)・排水時は、熱湯が出ることもあるのでお湯に触らない(やけどの原因)



1 貯湯ユニットに脚部カバーが付いている場合は、脚部カバーを外す

2 電源レバーを下げ、「切」にする

- 電気の供給を停止します。

3 給水配管専用止水栓を閉じる

- 貯湯ユニットへの給水を止めます。

4 逃し弁操作窓を開け、逃し弁のレバーを手前に起こす

- タンクへ空気を取り入れます。

5 〈薄型タイプ以外〉
非常用取水栓(白色)を開く(1回転~1回転半まわす)

〈薄型タイプ〉

同梱の非常用取水ホースを取り付け、非常用取水栓(白色)を開く

- タンクの水(お湯)を取り出します。バケツなどで受けます。

〈取水が終わったら〉

6 非常用取水栓を閉じ、手順1で外した脚部カバーを取り付ける



お願い

- 再び使用するときは、「使いはじめ(準備)」の手順にしたがってください。
必ず機器を満水にしてからご使用ください。

お知らせ

- 非常用取水栓(白色)は、ヒートポンプ配管用水抜き栓と兼用です。(薄型タイプ除く)

※本方法はSRT-S373を例にしております。

※非常時の取水方法は、給湯機正面のラベルでも確認できます。

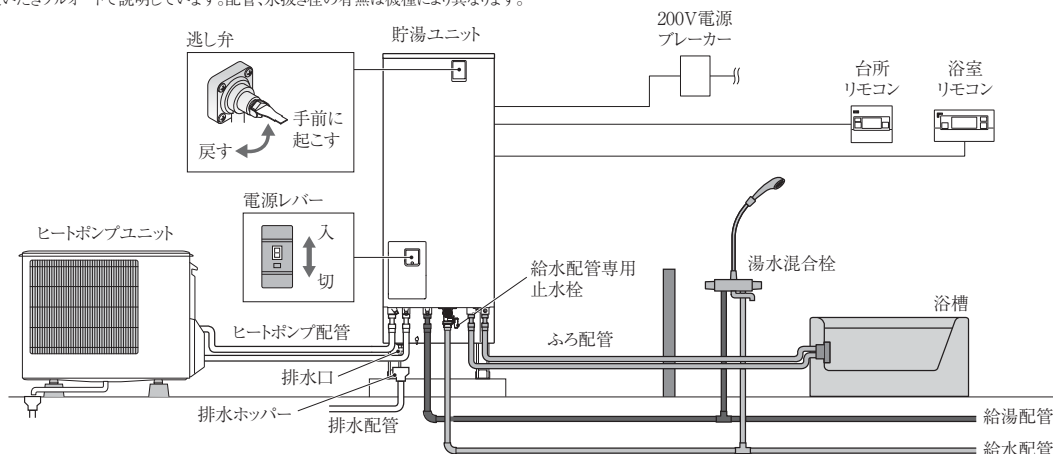
使いはじめ

タンクの水を抜いた後は、次の手順で給湯機の使用を再開します。

※必ず満水にしてから電源を入れてください。故障の原因となります。

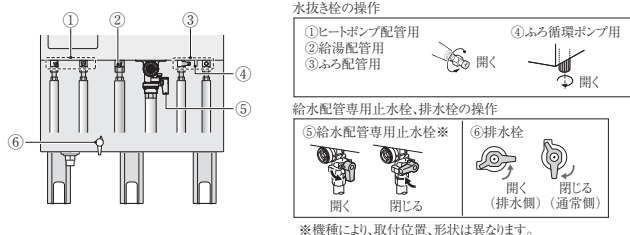
● 逃し弁、電源レバー取付位置

追いきフルオートで説明しています。配管、水抜き栓の有無は機種により異なります。

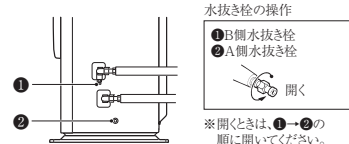


● 水抜き栓、排水栓、給水ストレーナ、給水配管専用止水栓の取付位置

貯湯ユニット



ヒートポンプユニット



1 以下のことを確認する

- 貯湯ユニットの電源レバー：「切」
- 貯湯ユニットとヒートポンプユニットの水抜き栓、排水栓、給水ストレーナ：「閉」
- すべての蛇口(湯水混合栓)：「閉」

2 機器を満水にする

- (1) 逃し弁操作窓を開け、逃し弁のレバーを手前に起こす
- (2) 給水配管専用止水栓を開き、貯湯ユニットへ給水する
 - 給水中は排水口から少量の水が出ますが故障ではありません。
- (3) 貯湯ユニットの排水口から水が出ると満水の合図です(満水までの目安:約30分)
 - 排水口がよく見えない場合は、流水音で確認してください。
- (4) 満水確認後、逃し弁のレバーを戻す(排水が止まります)

3 満水を確認後、電源を入れる

- (1) 200V電源ブレーカーを「入」にする
- (2) 電源レバーを上げ、「入」にする
 - 電源を入れると、昼間でもわき上げを開始します。
 - お湯の増加とともに残湯量表示が増加します。最初は「残湯なし」が表示されます。

4 機器のエア抜き運転をする

- (1) 台所リモコンの選択スイッチ「▲」「▼」を同時に3秒以上押す



- エア抜き運転中は、台所リモコンに「エア抜き」が表示されます。約10分後に自動で停止します。
 - 同手順(「▲」「▼」同時3秒押し)で、エア抜きを終了できます。
- (2) エア抜き終了後、タンク上部のエアを抜くため、逃し弁のレバーを約1分前を起こす(1分後、レバーを戻す)

5 リモコンの日時を確認する

- 他の設定も工場出荷時に戻っていることがありますので、確認してください。

6 お湯を使う

- 約8時間で満タンまでわき上がります。
- 湯水混合栓の温度調節つまみを「低」側にして給湯を開始し、適温に調整してください。(やけど防止)